早春の集い

第2回

四季の祭典

時の移ろい

日時　令和七年二月九日（日）

場所　市民ホールやたべ

開演　十三時三十分

日舞　民俗芸能

詩吟　剣舞　詩舞

主催　つくば市文化協会

後援　つくば市　つくば市教育委員会

プログラム

オープニング

富士山　（合吟）つくば詩吟会、（尺八）根本賢峰　つくば詩吟会

石川丈山作。

＊＊＊＊ 第一幕 ： 雪 月 花 ＊＊＊＊

旅の道・・雲 雪 川 細石

[詩舞と日舞]

* **白雲の城**　（舞）中島園心　瀞和流吟剣詩舞道会

（歌）梅田一徳　歌謡部

年末の紅白歌合戦にも出演、氷川きよしの「白雲の城」皆様ご存知の名曲です。昨年ボランティアでコラボさせて頂きました。アンコールが出るほど皆々様との一体感が楽しい、お時間を与えて頂きました。梅田事務局長様に改めて感謝申し上げます。

* **長良川舟唄**　山入端悦子　すみれ会

流れゆく川の水面に降っては消える細雪　しあわせがうわさひとつでこわれるなんて知らなきゃよかった恋の裏　舟唄聞こえる長良川

* **細石**　中元利美子　つばき会

遥かに続くこの道をただひたむきにわたしらしく生きてゆく

* **雪の細道**　安田幸枝　つばき会

初恋の人と別れて、忘れられなくて、さみしく、一人で雪道を歩く女の人

送別・・唐の時代（701-761）

[詩吟]

* **汪倫に贈る**　大野良峰　つくば詩吟会

* **汪倫に贈る**　嵯峨井勝峰　つくば詩吟会

唐の詩人 李白の作です。李白が船に乗り出発しようとすると、友人の汪倫の見送りの歌が岸辺から聞こえてきました。友の送別の情の深さに感謝して汪倫に贈りました。

* **山の夜**　木村早峰、（尺八）根本賢峰　つくば詩吟会

君と臣・・鎌倉時代から幕末（1180～1867）

[剣舞]

* **弘道館に梅花を賞す**　飯泉日南子　瀞和流吟剣詩舞道会

芸能祭に初めて踊りました。剣舞のタイトルの詩を書いた人が徳川斉昭公なので、冬休み水戸の弘道館を見学してきました。小学３年生。

* 楠公を詠ず　斉藤園美　瀞和流吟剣詩舞道会

後醍醐天皇に仕えた代表的武将で、大きな影響を後世に与えた楠木正成をたたえた作品です。

* 大楠公　穴澤郭心　なごみ会

大楠公の偉勲をたたえて作ったものである。鎌倉末期の武将楠木正成。後醍醐天皇の南朝再建に尽くした。

迫る想い・・親 恋 未練

[日舞]

* みだれ髪　久古キエ子　つばき会

美空ひばりさんのヒット曲。哀しい女の心情を切々に歌い上げる古風で美しく表現できる「みだれ髪」をどうぞ。

* 母恋桜　長谷川敏子　つばき会

苦労を重ねて娘３人を残して逝った母を、桜の咲く頃、ありし日の姿を思いながら歌う栃木県烏山市の奈奈美さんの声にのせて踊ります。

草枕・・唐の時代（773-818）

[詩吟]

* 除夜の作　大谷禮峰　つくば詩吟会

唐の詩人 高適(こうてき)の作です。旅先の旅館で大晦日を迎え、故郷を忍んだ歌です。白髪の老いの身ですが、明日の朝には、また一つ年をとるのです。

* 江雪　大矢俊峰　つくば詩吟会

* 江雪　中井栄峰　つくば詩吟会

唐の詩人 柳宗元(りゅうそうげん)の作です。雪に閉ざされた川に浮かんだ一艘の小舟で老人が独り釣り糸をたれています。周りは、飛ぶ鳥もなく、道の足跡も雪に埋まっています。

凛と生きる・・人生の道

[日舞]

* わたしゃ糸屋の器量よし　深谷　愛生　みやび会

美空ひばり１８歳、約６７年前に発売された歌です。可愛いひばりの歌声で可愛い踊りをお楽しみください。前回のリベンジです。

* お蔦　佐藤美千代　つばき会

泉鏡花作のおんな系図、「俺が死んだとおもって切れてくれ。真砂町の先生が!!」「湯島の境内」の名場面。大そうな曲に…島津亜矢さんのすばらしい唄の力をかりて、ちょっぴりでも思いを馳せていただけるよう踏んばります。

* 母ざんげ　野原節子　つばき会

生みの母という身でありながら毒見役をさせる鬼の母。毒と知りつつ若君様の身代わりをする千松。母とも呼べずに逝った千松への母ざんげです。

心の唄・・芸のひびき

[歌謡]

* おしんの子守唄　　大須賀邦子　　歌謡部

以前NHK TV 朝ドラで放映された「おしん」は皆様ご覧になったかと思われますが💤この唄で少しでもドラマを思いだして頂ければ幸いです。

* 春よ、来い　　武田敏郎　　歌謡部

松任谷由美作曲。この曲は、90 年代半ばの連続テレビ小説『春よ、来い』の主題歌。失恋の切なさと、未来への期待を表現した、春の名曲。歌詞の素晴らしさはあるが、ここでは様々な音色を出せるトランペットでそれを表現してみたい。

休　憩

＊＊＊＊ 第二幕 ： 花鳥風月 ＊＊＊＊

絆に生きる・・人と人、人と自然

[日舞と詩舞]

* おりょう　　飯田　靖子　　みやび会

幕末の英雄坂本龍馬の妻おりょう。竜馬への思いを島津亜矢が切々と歌い上げました。

* 千年の舞　　中山心雅　　なごみ会

日本の自然の調和と文化は人々の豊かさを支える、歌謡舞踊に相応しいノリの良い曲です。精進しておりますので、よろしくお願いします。

* 絆　　渡辺ふじえ　　すみれ会

この世でよりそい結ばれる不思議なものです縁なんて　今では誰より大事なひとに女の真心尽くして生きます

武士の本懐・・南北朝時代～江戸時代（1331-1867）

[詩吟]

* 舟中子規を聞く　　中島哲也　　瀞和流吟剣詩舞道会

船に乗って大阪に向かう途中、八幡・山崎の辺りまで来ると血を吐くような声で鳴くホトトギスの声を耳にした。春を惜しむ夜のホトトギスの声・舟中・半夜と並べて旅情をしみじみと感じさせます。

* 川中島　　大野一峰　　つくば詩吟会

「鞭声粛々夜河をわたる」と始まります。上杉謙信と武田信玄の川中島の戦いを頼山陽が詠みました。謙信が、鞭声、すなわち、鞭の音を ひそめて 夜 河をわたり、信玄に打ちかかりますが、失敗します。

* 書懐　　山口清峰　　つくば詩吟会

西南戦争で、西郷隆盛を助けて戦った旧薩摩藩士 篠原国幹(くにもと)の作です。日本国内が、乱れに乱れた今、腰に差した日本刀で、敵を一掃して、天皇に拝謁しようと詠います。

* 楠公を詠ず　　村上裕峰　　つくば詩吟会

幕末の志士、日柳燕石(くさなぎえんせき)の作です。日本に楠木正成という聖人がいます。誤って戦乱の世に生まれ、刀を引っ提げて、賊と戦い、英雄となりました。

* 西南の役陣中の作　　根本賢峰　　つくば詩吟会

西南戦争で、西郷隆盛を助けて戦った旧熊本藩士、佐々友房(さっさともふさ)の作です。壮大な計画はつまずき、無限の恨みが残りました。落とした橋のそばで散りゆく花を見ます。

祖霊への祈り・・風流踊

[民俗芸能]

* 音頭、がんけ　　高野洋子、関場啓子、甲斐房枝、中元利美子、佐藤美千代、佐々木徹　　西馬音内盆踊り　藍の音会

先祖の鎮魂と五穀豊穣を願って踊り継がれてきた秋田県の盆踊りです。勇壮なお囃子と優雅な踊りの対比が特徴です。

懐かしき古里

[歌謡]

* 津軽よされ雪　　八木儀和＆スリーガールズ　　歌謡部

日本歌手協会、日本クラウンに所属し、八木&スリーガールズで近隣及び東京方面で活躍をしております。また、自宅ではカラオケ教室と和菓子製造の二足わらじで頑張っております。

* 花嵐　　中島園心　　瀞和流吟剣詩舞道会

フィナーレ

* ふるさと　　全員合唱、（尺八）佐々木徹

故郷

高野辰之

一、
兎追ひしかの山、
小鮒釣りしかの川、
夢は今もめぐりて、
忘れがたき故郷。

二、
如何にいます、父母、
恙なしや、友がき、
雨に風につけても、
思ひいづる故郷。

三、
こころざしをはたして、
いつの日にか歸らん、
山はあをき故郷、
水は清き故郷。

ご挨拶

寒さの中にも、春の足音を感じる季節となりました。本日はご多用にもかかわらず、お越し頂き誠に有り難うございます。

第２回「四季の祭典」本日開催の日を迎えることができました事を嬉しく思っております。昨年は新春の集い「春夏秋冬」、今年は早春の集い「時の移ろい」をテーマといたしました。

中国は盛唐時代から、日本は平安時代から現代に至る様々な芸能を通して時の移りを不自然的ではありますが寛容を持って見ていただければ幸いです。日舞、民俗芸能、詩吟、剣舞、詩舞の芸能に加えて協会会員賛助出演とコラボレーションは皆様方に喜んで頂けると思います。このイベントが皆様にとりまして有意義なお時間となります事を願っております。お帰りの際はお気をつけて、本日は誠にありがとうございました。　（中島園心）

芸能部 本日の出演団体

専門部	団　体　名	代表者名	連 絡 先
日舞部	つばき会	長谷川　敏子	090-3360-7883
	すみれ会	沼尻　久仁子	090-4953-1593
	みやび会	飯田　靖子	090-7281-4700
民俗芸能部	西馬音内盆踊り藍の音会	高野　洋子	090-8721-8994
詩吟部	双峰流つくば詩吟会	根本　賢一	090-2403-1360
剣舞部	瀞和流吟剣詩舞道会	中島　園心	080-6550-1016
詩舞部	なごみ会	中山　心雅	090-1438-2430

本日出演のない団体を含め詳細はつくば市文化協会ホームページをご覧ください。
ご入会や新たな団体のご加入を歓迎します。　https://tsukubabunka.main.jp/

「四季の祭典」企画運営：つくば市文化協会芸能部

部長：佐々木徹
企画構成：中島園心
事務局：佐々木徹
総務：長谷川敏子　慶野光彦
会計：大島裕美
受付：稲葉菜穂子　大谷禮峰　大野良峰　深谷沙記子
連絡：大須賀眞　大矢俊峰　稲葉仁
司会：長谷部千恵子
舞台進行：根本賢峰　村上裕峰　山口清峰
音響・照明：ミュージックプラント

大空に　時の移ろい　雲一つ　融合の芸　四季の祭典

園心